



# 災害実動訓練を実施しました

平成25年9月26日(木)に災害実動訓練を実施しました。

岐阜県立多治見病院は、災害拠点病院の指定を受けており、東濃圏域で大規模災害が発生した際は、患者の収容先としての機能が期待されています。

当院では、これまでに防災用備品確認展開訓練を平成25年3月3日(日)に実施し、防災用備品の展開や、トリアージ計画、患者収容方法等の確認訓練を行いました。

今回の訓練では、多治見市内の多重交通事故を想定し、患者受け入れ体制の確認、患者のトリアージや搬送の訓練を行いました。

## 「トリアージ」とは?

当院に搬送された患者さんは、全員がまずトリアージエリアにてトリアージを受けます。患者さんは一人一枚ずつトリアージタグが付与され、氏名、年齢、性別、傷病名、トリアージ区分等を記入します。トリアージを受けた患者さんは、区分ごとの治療エリアに搬送され、必要な治療を受けることになります。

治療後、帰宅可能な患者さん

## 患者さんの流れ



トリアージタグの例

言います。

当院では、患者さんに對して、意識、氣道・呼吸、循環の評価を行い、この評価により患者さんを、緑・黄・赤・黒、の四群に分類します。そして、優先順位の高い患者さん(当院の場合は赤)から優先して治療にあたります。

は帰宅していただきます。入院が必要な患者さんは、病棟もしくは臨時病棟に搬送し、引き続き治療を行います。大規模災害発生の際は、病床が足りない恐れがあります。その場合、リハビリテーション室や職員食堂に臨時の病棟を開設し、患者さんを収容します。

## 訓練の様子

ヘトリアージエリア▼



模擬患者の治療(模擬)を行っています。  
赤エリアでは重傷者の治療を行います。



ヘ赤エリア

## 訓練を終えて

ヘ臨時病棟▼



リハビリテーション室を利用して臨時病棟を開設しました。医師と看護師が協力して、患者さんの治療にあたります。

今回は災害拠点病院に指定後初の実動訓練ということもあり、多くの課題が挙がりました。職員の配置や、患者搬送、備品の管理等、その多くが職員のマンパワーによるものであり、限られた職員数で多数の患者対応を行うことの難しさを痛感しました。この課題を当院災害対策マニュアルに反映するとともに、今後は、NBC災害(核・生物・化学物質)・テロ対策を進め、より広範な災害へのニーズに対応できるよう体制整備を進めていきます。また、引き続き定期的な訓練を実施し、災害拠点病院としての機能の醸成を図って参ります。

## 診療科便り

### 循環器内科

#### 心筋梗塞を予防する

心筋梗塞は、心臓に栄養や酸素を供給する冠状動脈が突然詰まるために起こり、死亡率は30%から40%で約半数が病院に搬送される前に亡くなる、大変恐ろしい病気です。冠動脈の動脈硬化が原因とされ、動脈硬化の起こりやすい高齢の方や脂質異常症、糖尿病、高血圧、肥満等の持病をお持ちの方、家族の中で心筋梗塞があるといった遺伝的要因のある方は要注意です。冠危険因子といいますが、その数が多くれば多いほど心筋梗塞になりやすくなります。また、喫煙、多量の飲酒、ストレス、運動不足などの生活習慣によつてもそのリスクが増します。最近では働き盛りの40～50代の若い方の心筋梗塞が増えてきています。将来動脈硬化を起きないように検診、特にメタボ検診を受けて予防することが重要です。

心筋梗塞を起こした人の3人に2人は何らかの前触れがあつたとされています。狭心症で治療中に発作の回数が増え二トロが効きにくくなつた場合、初めての発作があつた時は不安定狭心症と言つて心筋梗塞に移

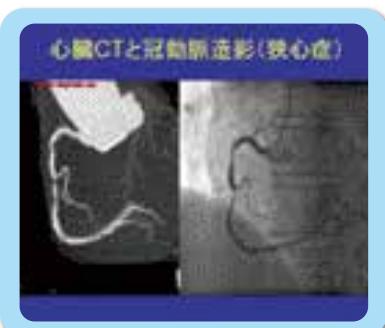


図1(左)心臓CT (右)冠動脈造影

行しやすい状態となります。そのまま放置すると危険で、早めに医療機関を受診して診断を受ける必要があります。発作が治まつてから心電図をとつても正常なことが多く、通常次に行つている運動負荷による心電図検査は、不安定狭心症が疑われる場合には危険です。冠動脈造影を行えば詰まりそうな狭窄病変がはつきりしますが、予定を立てて入院で行う必要があります。最近では外来で心臓CTを行うことで冠動脈を評価し、早期に適切な治療を行うことができるようになりました(図1)。

7人の常勤スタッフと3名の非常勤スタッフとで日々診療にあたっています。小児科外来、小児科病棟、NICU(新生児集中治療室)業務をこなし、さらに病的新生児を産科クリニックまで県病院の新生児専用救急車で迎えに行き、NICUへ入院させられる新生児搬送も行っています。

さて、毎年冬になるとウイルス感染症が流行します。具体的にはインフルエンザウイルス、RSウイルス、ノロウイルス、ロタウイルスなどです。予防の基本は手洗い・うがいですが、小さなお子様がいらっしゃるご家庭では周りの大人が率先して手洗い・うがいをするとよいでしょう。特に幼稚園・保育園・学校で流行し始めます。予防の基本は手洗い・うがいですが、診療にあたることもあります。至らぬことがありますから、ご意見

### 小児科

県病院小児科は、医療を通じて安心して子育てできる環境作りに貢献したいとthoughtしております。

7人の常勤スタッフと3名の非常勤スタッフとで日々診療にあたっています。

心して子育てできる環境作りに貢献したいとthoughtしております。

心して子育てできる環境作りに貢献したいとthoughtおります。



(文責: 小児科部長 荒川武)

レルギーの患者さんに対しても必要最小限の除去を目指して治療、指導を行っています。「食物アレルギーの関与が疑われる乳児アトピー性皮膚炎で離乳食の進め方がわからない」「かかりつけ医でアレルギー検査をして

卵禁止(あるいは牛乳禁止などなど)で離乳食の進め方がわからない」「か

かりつけ医でアレルギー検査をして卵禁止(あるいは牛乳禁止などなど)で離乳食の進め方がわからない」「か

## 診療科便り

### 耳鼻咽喉科

#### 花粉症について

今年もまた、花粉症でお悩みの方にとつては不快な季節がやつてきます。昨年の花粉飛散量は非常に多かつたのですが、今年は平年並みと言われています。今では3人に1人と言われる花粉症は、鼻粘膜のI型アレルギー(抗原抗体反応)でくしゃみ、水様の鼻水、鼻づまりを3主徴とする疾患です。それぞれの症状が起きるしくみも解明されており、診断・治療については鼻アレルギー診療ガイドラインに基づいて標準化がなされています。発症についてはそれぞれの人が大きさの異なる器(免疫)を持っており、吸引した花粉がその器からあふれるようになると発症するといわれています。器の小さい方は早く発症し、一度発症するとほぼ毎年続くことになります。ガイドラインでは、まず花粉ができるだけ吸引しないこと。抗体検査を行い原因を知ること。自分に合った薬を選ぶことが大切であります。今ではほとんど眠気のないものや一日1回の服薬でよいものなどがあります。点鼻薬も改良され1回点鼻をするだけでかなり症状をコントロール



耳鼻咽喉科スタッフ

(文責：耳鼻咽喉科部長 上田幸夫)

できるものがあります。当院ではアレルギー反応を起こす鼻粘膜を減量して、症状の緩和と慢性的な鼻閉を改善するためレーザーや電気凝固による外来手術を行っています。今年は間に合いませんが、舌下免疫療法が4月からできるようになります。根本的にアレルギー反応を起さなくなるする治療法で、欧米ではすでに効果が認められています。3～5年間は毎日舌下を続ける必要があります。

さて、当科では基幹病院の耳鼻咽喉科としての仕事がたくさんあります。花粉症については、ガイドラインに基づいてどの耳鼻咽喉科でも標準的な治療を受けられます。まずは夕方も診療を行つている開業医等の受診をお願いします。そして県病院でしかできません。そして県病院でしかできない手術療法などの適応がある方は紹介状を書いていただくことをお勧めします。

6月に開催した公開講座では、宗教学者のカール・ベッカー先生(京都大学)をお招きし、「今を大切に生きる、理想の終焉を見つめて」をテーマにご講演いただきました。

9月に開催した公開講座では『女性のための健康講座』をテーマに、廣瀬玲子先生(岐阜県総合医療センター)と大野元嗣先生(県立多治見病院)のお二方にご講演いただきました。

また、お昼には看護部主催のチャリティーバザーを実施しました。皆様のご協力により、売上金は合計で97,016円となりました。これらの売上は、全て多治見市社会福祉協議会へ寄付させていただきました。

多数のご来場ありがとうございました。

## 県病院便り

### 市民公開講座を開催しました

### 県立多治見病院秋まつりを開催しました



上／カール・ベッカー先生  
右／大野元嗣先生



チャリティーバザーの様子

## 医事課から

医事課は診療の受付や入院案内、患者さんからの医療相談などを行ういわば「診療に関する窓口」です。また、診療報酬請求やクリニックとの連携といった業務なども担当しております。

### 料金改定について

当院では、今年の四月一日に施行される消費税率の引き上げにあわせ増税相当額の料金改定を行うこととしております。

また、初診にかかる保険外併用療養費を現行の一三九〇円から二二六〇円(税込)に改定させていただきます。

これにつきましては、現在、国が進める社会保障制度改革における医療改革の骨子として「病院の機能分化」が検討されており、「かかりつけ医制度の普及」を進めるとともに「大病院は高度医療(救急や重篤な患者の診療)」を担うこととされています。また、昨年夏には「厚生労働省は二〇一六年の診療報酬改定をめどに紹介状のない大病院の初診料は一万元を軸に患者負担を求めるこことを検討している」という旨の報道があつたところです。

当院では、今年の四月一日に施行される消費税率の引き上げにあわせ増税相当額の料金改定を行うこととおります。

### DPCについて

当院は、平成21年4月から「DPC(対象病院)」となっています。これは、患者さんの疾患別に一日当たりの入院料を入院期間により一定にするというもので、手術や高額の検査などを除き、入院期間中の薬剤や注射などは定められた入院料に含まれることとなります。

したがって、入院中の患者さんが他の診療所等で薬の処方を受けた場合には、その診療所は保険請求ができません。

ご入院される際、他の医療機関で薬をもらわれているときは必ずスタッフまで申し出てください。

また、当院の外来で診察を受けら

域の基幹病院としての役割を果たしていくことが一層求められることとなります。そういうことも勘案し、また近隣の病院とのバランスも図りながら「保険外併用療養費」を改定させていただきたいと考えておりますので、皆様のご理解をいただきまますようお願い申し上げます。

### 【オプションについて】 脳の健康診断!! 脳・脊椎脊髄ドックのご紹介

れる方で、他の病院に入院される場合は必ず申し出でていただきますようお願いします。

受診については、完全予約制となっておりますので、電話またはご来院のうえお申し込みください。

「アルツハイマー画像検査」は専用ソフトを用いて解析し、アルツハイマー型認知症に特有の「海馬の萎縮の程度」を測定・評価することができる。

【電話予約】〇五七二一一二一五三二一

【来院予約】一階・総合案内まで



MRI装置

# 外来診療表

平成26年1月1日現在

診療科目		初診・再診別		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	初診	佐野	奥村文	水島	西江		
		再診	奥村文	井上	安部	岩崎	佐野	
			加地	水島	命木	横井清	福定	
	循環器内科	初・再診	日比野	横井清	矢島	横井清	矢島	
			山本伸	森賢	秋田	日比野	上山	
			吉岡	一	堀部	重田	山瀬	
			一	一	ペースメーカー 外来 (午後)	一	近藤泰	
			膠原病・リウマチ科	一	※横田	※橋本	一	
	腎臓内科		一	押谷	※西尾	北川章	一	
			花村	岩井	佐橋	花村	岩井	
			柘植	岩井	佐橋	花村	岩井	
	内分泌内科	初診	小澤	一	※代務医	一	富永	
		再診	一	※代務医	富永	※近藤正	小澤	
			一	※代務医	富永	一	一	
	呼吸器内科	初診	松浦	市川元	矢口	志津	小林直	
		再診	小林大	小林大	松浦	市川元	矢口	
神経内科		初診	毛利	青木	岸本	毛利	高木	
		再診	岸本	高木	青木	高木	青木	
整形外科	紹介初診	紹介初診	中島	高津	伊藤茂	高津	山本拓	
		初診	安藤友	酒井	大野徹	後藤	中野健	
		第2・4週	中野健	酒井	大野徹	後藤	安藤友	
			大野徹	伊藤茂	後藤	伊藤茂	【手の外科】 ※大西(午後)	
			山本拓	山本拓	中島	安藤友		
	再診	第1・3・5週	一	一	中野健	酒井	一	
		第2・4週	一	一	酒井	中野健	一	
			一	一	酒井	中野健	一	
			一	一	酒井	中野健	一	
			一	一	酒井	中野健	一	
形成外科	初診・再診	風戸	風戸	小野	小野	風戸		
眼科	初診・再診	伊藤孝	米今	伊藤孝	伊藤孝	伊藤孝		
		米今	一	※奥村勇	米今	※北川周	米今	
放射線治療科	初診・再診	一	宮内	小山	小山	小山		
		小山	小山	一	宮内	宮内		
放射線診断科	肺生検	一	一	一	一	古池		
■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)								
■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時まで</li> <li>各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。また、移動により担当医師が変更する場合があります。</li> <li>救急診療については、救急外来受付(内線2486)まで、お問い合わせ下さい。</li> <li>女性外来の予約は、医療連携室(内線2487)へご連絡下さい。</li> </ul>								

※は非常勤医師です。

## 外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんには、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00  
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。

※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。

※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

## 初診患者さんのFAX・電子メール予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXまたは電子メールで送信していただければ予約できます。

- ①氏名(漢字とフリガナ)
- ②性別
- ③生年月日
- ④住所と郵便番号
- ⑤電話番号(自宅及び連絡先電話番号)
- ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号(保険証記載のもの)
- ⑦受診希望診療科名
- ⑧受診希望日時
- ⑨紹介状(診療情報提供書)の有無

初診予約用FAX 0572-21-1022

初診予約用電子メール yoyaku@tajimi-hospital.jp

電話予約センターから折り返し電話確認をし、登録完了となります。

※FAXや電子メールの折り返しの電話は電話予約センターの受付時間内となります。また、送信されてもすぐにご連絡できない場合があります。万が一電話予約センターから連絡がない場合(休日以外の日で24時間以上ない場合)は、予約専用電話でお知らせください。

この広報紙「けんびょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。

URL http://www.tajimi-hospital.jp/



環境にやさしい古紙100%の  
再生紙と大豆油インキを使用しています